

俣野小学校 創立50周年記念

「またののさんぽ^{プラス}」 発刊にあたって

「またののさんぽ」初版は、創立10周年の記念事業の一つとして作成されました。その後、第6版まで発行され、創立20周年の1990（平成2）年に、本校の先生方が分担し、内容を増やしたり、改めたりして、改訂版を発行しました。そして、1996（平成8）年に、第8版が発行されているという記録があります。その後、「またののさんぽ」改訂版を俣野小学校の中学年の地域学習、校内研究の地域教材開発と授業研究、地域について理解を深める校内研修の資料などに活用してきました。

2020（令和2）年、創立50周年の記念事業の1つとして、前年の校内研修をきっかけに、「またののさんぽ」部会が発足しました。部会に集まった先生方から、「資料を読んで、歴史と伝統のある俣野の地域に対して、子どもたちが少しでも興味・関心が高められるものを作ろう。」という声が上がりました。初版から続くねらいや、先生方の思いを確認し、まずは教職員自身が俣野の地域を実際に歩き、歴史や地域のことを学びながら、教材資料の更新をめざすことになりました。

「またののさんぽ+」の題名通り、これまでの「またののさんぽ」改訂版に代わるものではなく、「またののさんぽ」と一緒に使っていくものとして作成しました。

新型コロナウイルス感染症予防の臨時休校期間や夏休みなどを利用して、またのの森を探険したり、花應院ご住職や地産地消モデル校農家渋谷さんにも直接お話を伺ったりした内容をまとめています。5年生が、今年初めてお世話になった、地域の工場についても加えました。3・4年生の保護者のお仕事調べも実施しました。多くの回答をいただき、ありがとうございました。前回と違い、父・母を分けずに集計をしました。30年ぶりのデータ更新となりました。子どもたちがどんなことに気づくのか、今後の活用が楽しみです。

「またののさんぽ」の意図や願い、「私たちの俣野をよく知って大切にし、そこに住んでいる人たちがみんな助け合って、町も暮らしも、ますますよくしていくように。」（初版より抜粋）は、40年経っても、変わらない大切なものです。地域学習のさらなる充実に本資料を繋げていきたいと思えます。

最後になりましたが、「またののさんぽ+」を作成するにあたり、多くの皆様にご協力いただきましたことに深く感謝いたします。

2020（令和2）年12月

藤沢市立俣野小学校